

# 出版文化の 神保町

入場  
無料

定員 280名

## 世界に飛翔するために

出版文化の中心地 神保町を舞台に、未来の活字文化と街づくりを語り合う特別な一夜。  
作家や学者、出版業界のリーダーたちと一緒に、知と文化の魅力を発見してみませんか？

2025年1月22日(水) 午後6時 - 8時

出版クラブホール 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32

お申し込みはこちら ▶▶ <https://jimbocho-symposium-20250122.peatix.com>



## PROGRAM

総合司会 高橋大輔 (共立女子大学教授)

- 開会の挨拶 (5分)
  - 上川陽子 (活字文化議員連盟会長/衆院議員)
- 東京文化資源会議神保町プロジェクト実施報告 (20分)
  - 柴野京子 (上智大学教授)
- 神保町文化発信会議参加団体報告 (15分)
  - ① 出版文化産業振興財団
  - ② 本の街・神保町を元気にする会
  - ③ 文字・活字文化推進機構
- パネルディスカッション (登壇者：敬称略、50音順) (80分)
  - 鹿島茂 (明治大学名誉教授 作家/フランス文学者/古書コレクター)
  - 切通理作 (ネオ書店店主/評論家)
  - 柴野京子 (上智大学教授)
  - 林真理子 (作家/学校法人日本大学理事長/日本文藝家協会理事長)
  - 吉見俊哉 (國學院大学教授/東京大学名誉教授) ▶▶ 司会

会資文東  
議源化京

主催：東京文化資源会議

共催：神保町文化発信会議

(以下構成団体：50音順) 活字文化議員連盟、出版文化産業振興財団 (JPIC)、東京文化資源会議、本の街・神保町を元気にする会、文字・活字文化推進機構、読売新聞社

# 出版文化の 神保町

世界に飛翔するために



## 上川陽子

活字文化議員連盟会長／衆院議員

静岡市生まれ、東京大学卒（国際関係論）。三菱総合研究所研究員を経てハーバード大院を修了（政治行政学修士）。米国会議員の政策立案スタッフを務め、大統領選挙運動にも参加。帰国後、政策コンサルティング会社設立。2000年の衆院選で静岡1区から立候補し、初当選。現在8期目。07年に少子化相として初入閣し、08年には初代の公文書管理担当相として公文書管理法制定への道筋を作った。14年からは法相を3度経験。23年から外相を務めた。22年から活字文化議員連盟の会長を務め、「書籍や活字文化を集積している書店は、情報が凝縮している拠点で、文化として価値そのものが見直されるべきだ」と考える。愛読書は司馬遼太郎『この国のかたち』『21世紀に生きる君たちへ』。



## 鹿島茂

明治大学名誉教授  
作家／フランス文学者／古書コレクター

1949年、横浜市生まれ。73年、東京大学仏文科卒。78年、同大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。共立女子大学・明治大学教授を歴任。19世紀フランス文学・日本近代史を専門とし、1991年に『馬車が買いたい！』でサントリー学芸賞受賞。96年には『子供より古書が大事と思いたい』で講談社エッセイ賞、99年『愛書狂』でゲスナー賞、2000年『職業別 パリ風俗』で読売文学賞を受賞。24年2月から日本相撲協会の横綱審議委員会委員を務める。膨大な古書コレクションを有し、東京都港区に書齋スタジオ「NOEMA images STUDIO」を開設。近著に『パリの本屋さん』（中央公論新社）。22年には東京・神保町に共同書店1号店「PASSAGE」を開店し、現在は計4店舗を構える。



## 切通理作

ネオ書店店主／評論家

1964年、東京都生まれ。文化批評。著書は『怪獣使いと少年 ウルトラマンの作家たち』『本多猪四郎 無冠の巨匠』（洋泉社）、『お前がセカイを殺したいなら』（フィルムアート社）、『山田洋次の＜世界＞』（ちくま新書）、『失恋論』（角川書店）ほか多数。『宮崎駿の＜世界＞』（現ちくま文庫）でサントリー学芸賞受賞。阿佐ヶ谷ネオ書房、神保町ブックカフェ二十世紀で古書販売、展示、イベント企画等運営。



## 柴野京子

上智大学教授

東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、出版取次会社勤務ののち、東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。東京大学新図書館構想担当の特任助教を経て2012年より上智大学。2022年4月より同大学文学部新聞学科教授。専門は出版および知識基盤、メディア論。主著に『書棚とプラットフォームというメディア』（弘文堂、2009年）、監訳に『オックスフォード出版の事典』（丸善出版、2023年）ほか共著多数。NPO本の学校理事長、デジタルアーカイブ学会理事、日本出版学会理事、JCOPY理事、NPOブックスタート理事、国立国会図書館納本制度審議会委員。



## 林真理子

作家／学校法人日本大学理事長／  
日本文藝家協会理事長

1954年、山梨県生まれ。76年に日本大学芸術学部文芸学科を卒業後、コピーライターを経て82年、エッセイ集『ルンルンを買っておうちに帰ろう』を出版。86年、『最終便に間に合えば』『京都まで』で第94回直木賞を受賞。『白連れんれん』（柴田錬三郎賞）、『みんなの秘密』（吉川英治文学賞）、『アスクレピオスの愛人』（島清恋愛文学賞）など受賞多数。2000年には直木賞選考委員に就任した。18年に紫綬褒章を受章。20年、菊池寛賞を受賞。22年に母校・日本大学の理事長に就任した。同年には野間出版文化賞を受賞。20年には女性として初めて日本文藝家協会理事長に就任した。



## 吉見俊哉

國學院大学教授／東京大学名誉教授

1957年、東京生まれ。東京大学教養学部教養学科卒業。同大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。社会学・文化研究・メディア研究専攻。集まりの場におけるドラマ形成を考えるとところから、近現代日本の大衆文化と日常生活、その文化政治をテーマに研究を展開。

【著書】『都市のドラマトウルギー』『博覧会の政治学』『メディア時代の文化社会学』『「声」の資本主義』『カルチュラル・スタディーズ』『メディア文化論』『万博と戦後日本』『親米と反米』『ポスト戦後社会』『大学とは何か』『「文系学部廃止」の衝撃』『大予言』『戦後と災後の間』『トランプのアメリカに住む』『現代文化論』など多数。